

本時の授業の見方

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業づくりを進めることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

道徳科の授業は、教師と児童生徒が一緒になってつくるものであり、「考え、議論する道徳」の捉え方も一つではないと私たちは考えています。その上で、私たちの研究においては、以下の4つの視点で、「考え、議論する道徳」の授業づくりについて、研究してきました。

1. 児童生徒に問題意識を持たせる授業
 2. 登場人物の心情や考えを自分との関わりで考えさせる授業
 3. 多面的・多角的に考えさせる授業
 4. これまでの自分を振り返らせ、これから生きていく上で大切にしたい自分なりの考え（納得解）を見つけさせる授業
- ※ 学習指導案（細案）には、上の1, 2, 3, 4に、特に対応する学習活動や発問にそれぞれ問、自、多、生の記号を付けています。

1. 問題意識を持たせる

実際の生活場面を想起させ、「考えが違ったときに、自分の考えと友達
の考え、大切にしたいのはどちらですか」と問い掛ける。そして、
「自分の考え、相手の考えどちらも大事ですよ。これから、生活して
いく場面で、このように自分と考えが違う人たちに会ったときに、自
分の考えを大切にしつつ、相手の立場や意見を尊重するってどういうこ
となのかなということ、一緒に考えていきましょう」と投げ掛ける。
児童が「相手の考えを尊重するとはどのようなことだろう」という相づ
ちや表情をしているか注目してください。

2. 自分との関わりで考えさせる

ピエロの心情に共感させ、自分との関わりで考えさせます。ピエロが
サムに腹を立てていることに「ピエロの気持ちは理解できますか」と共
感させます。そして、怒りの気持ちがどうして消えたのか、自分との関
わりで考えさせるために、「自分だったら、サムが頑張っている姿を見
れば、怒りが消えますか」等の問い返しをし、ピエロの謙虚な心が表出
できるようにします。

3. 多面的・多角的に考えさせる

ピエロだけでなく、サムの心情変化を考えさせることを通して、謙虚
な心で、相手の立場や意見を尊重することの大切さについて、多面的・
多角的に考えさせます。

4. 自己の生き方について考えさせる

導入時に考えたことを振り返り、ねらいとする道徳的価値についての
自分の考えを書く活動を設定します。さらに、一人一人がどのような納
得解を見つけたのかを全体で共有し、道徳的価値について、多様な感じ
方・考え方があつたことを理解させます。

導入

展開

終末